

Company data

代表取締役

**福田 健児**

京都市出身。関西大学卒業後、東京にて証券会社に就職する。2年近く勤めた後に、父の立ち上げた運送会社、(株)栄興運を継ぐことを決意し、帰郷。現場で一から仕事を覚え、取締役、専務を経て2012年10月1日に代表取締役役に就任した。

Personal data



## この世に必要不可欠な企業として 貨物を通して幸せを届ける

畑山 こちらは20年以上続く、貨物自動車運送業者だと伺っています。社長は2代目なのですか。

福田 はい、2012年10月1日に、父の跡を継ぎ社長に就任しました。しかし、私は元々継ぐ気はなかったんです(笑)。学生の頃から経営者への志はあったのですが、経営するなら新しい事業がしたいという想いで。

畑山 そのお気持ちが変わったきっかけというのは？

福田 前職では様々な経営者とお会いする機会があり、そのなかでお話を伺っていると皆さん、「経営者になるのに業界は関係ない」とおっしゃられて。与えられた環境のなかで自分のやりたいことをやるべきだ、と。

畑山 ゼロから1まではお父様がつくっ

てくださっているわけですからね。

福田 ええ、経営者としていかに1から100までをつくりあげていくか、そこに私が注力していこうと考えました。

畑山 実際、どのように事業展開をされているのでしょうか？

福田 弊社はロジスティクス部門と生コン輸送部門という2部門を柱として事業を展開しているのですが、核となると考えているのはロジスティクス部門。バン・ウィング車・平ボディ・ユニック車で近・中距離のチャーター業務を行い、荷主様の期待に応えるためにも質の高い仕事を意識しています。

畑山 その質の高さを追求するためには、何が必要なのでしょう？

福田 やはり“人”ですね。ドライバーであっても、ただ荷物を運ぶというので

はなく、ドライブ技術はもちろん、コミュニケーション能力や物流に関する知識も持ち合わせた人材を揃えたいんです。そのためにも、ロジスティクス管理やオペレーション管理といった資格の取得も企業としてサポートしています。

畑山 ただ働く、というのではなくそこに社員一人ひとりの目標が伴っていないと持たないということですね。

福田 ええ、私がよく社員に話すのは、人生における目的や夢を定めるということの大切さ。例えば今手がけている仕事と同じことを5年後も続けるのか——、目的を実現させるためにはそれでは間に合わないでしょう。社員一人ひとりが目的を持ち、そのために成長していかなければならないんです。

畑山 社員の成長が企業としての成長にもつながっていきますよね。

福田 ええ、その成長が、理念の1つである「この世に必要不可欠な企業になる」ことを実現させると考えています。それには経営者である私の想いを従業員に伝えることが不可欠。現在はWebを通してその想いを社内にも社外にも発信しています。私たちが信頼して仕事を任せてくれている大手企業様の期待に恥じないよう、今後も企業としてさらなる飛躍を遂げていきたいと思っています。

Guest Comment

**畑山 隆則 (元ボクシング世界王者)**

「ネットとリアルな融合」という言葉を使い、「メディアを通じて、どんどん情報発信していきたい」と語ってくれた福田社長。一般の方に向けた運転技術の知識なども伝えているのだとか。福田社長らしさを活かし、今後も多くの方から愛される企業としてファンを増やし続けていってくださいね。

